

## 問題【国語】

各文の下線部を送り仮名つきで漢字に直しましょう。

- (1) 身長をはかる。
- (2) タイミングをはかる。
- (3) 相手の気持ちを押しはかる。

## 豆知識 雑学コラム

### 同じ「はかる」でも…

今日は同じ音なのに違う文字を扱ってみました。もともと「はかる」は「物事の進み具合や程度を調べる」という意味の言葉で「何の具合や程度を調べるのか」によって異なる漢字があてられました。スマートフォンやパソコンで「はかる」と入力するといろいろな漢字が出てきて迷ってしまうこともあるかと思います。それでは、区別の仕方を見ていきましょう。

まず、(1)の問題は「測る」が正解です。「測」の意味はその字の成り立ちから考えてみましょう。「測」という字は水を表す「さんずい」に「規則」や「法則」など「決まり事」という意味の「則」がくっついたものです。つまり「測」という字はもともと「水を決まった尺度（ものさし）で測る」という意味でした。そこからものさしではかる長さや面積をはかるときに「測る」という字を使うようになりました。

次に(2)の問題は「計る」が正解です。「計」の意味を考えるために「計」を使う熟語をイメージしてみましょう。「計算」や「集計」など数えるという要素のある熟語に使われていますよね。「計」にはこのように数えるという意味があり、「1、2、3…」と数えてはかる数や時間をはかるときに「計る」という字を使うようになりました。

最後に(3)は「量る」です。「量る」は重量という言葉もあるため、重さを「量る」という意味で使いますが、気持ちを押し量るのにも使いますよね。これは日本語では「軽い気持ち」や「気が重い」のように気持ちについて「重さ」を使って表しているからです。

今回の問題以外にも「はかる」には「計画したことをする」といった意味で使う「図る」や諮問（＝意見を聞く）の「諮」を使った「諮る」などもありますね。「はかる」のように同じ音なのに違う文字の区別をするポイントは、漢字ごとの意味を理解することです。「こういう意味だからこう使う」を考えながら覚えていくことを心がけましょう。

## 【解答】

(1) 測る (2) 計る (3) 量る